

第5回下野市公共施設マネジメント検討委員会 会議録

日 時 平成28年7月11日(月) 14時00分～16時25分
場 所 下野市役所 303会議室
出席委員 三橋伸夫委員、五月女洪委員、有野一夫委員、梅山博行委員、渡辺欣宥委員、
九鬼真澄委員、中川賢一委員、滝澤芳夫委員、根本典夫委員、鈴木祐孝委員、
海老原正知委員
欠席委員 高橋佳枝委員
事務局 長総合政策部長、星野総合政策課長、野口主幹、伊澤主査
八千代エンジニアリング(株)
傍聴者 なし

○次第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 前回(第4回)会議録の確認について
 - (2) 用途別基本方針(案)について
 - (3) その他
- 4 閉会

○開会

○委員長あいさつ

(三橋委員長) 今回から、公共施設等総合管理計画の本丸ともいえるべき用途別基本方針について検討を行うことになる。用途別基本方針については、類型が多岐にわたるため、事務局である総合施策課が関係課と調整を図ったうえで、方針案として作成している。委員各位には忌憚のないご意見をいただきたい。また、用途別基本方針案の内容について、もう少し書き込んだほうが良いのではないか、またはここまで書き込んでしまうのはどうかなど、ご意見をいただきたいと思う。

○議事

(1) 前回(第4回)会議録の確認について

(事務局) 資料に沿って説明

(委員) 質疑なし。

(2) 用途別基本方針(案)について

(事務局) 資料に沿って説明

(三橋委員長) 施設類型が多岐にわたり検討のボリュームが多いことから、委員長の独断になるが、まずハコモノを4つに分けて検討を進めたい。「1.コミュニティ関連施設」から「3.子育て支援施設」、「4.農業振興施設」から「7.消防・防災施設」、「8.学校教育施設」から「11.体育施設」、「12.庁舎等」から「13.その他」の順で進めていき、その後、インフラについてご意見をいただく形で進めたい。

<「1.コミュニティ関連施設」～「3.子育て支援施設」>

(三橋委員長) 「コミュニティ関連施設」から「子育て支援施設」について、ご意見をいただきたい。

(渡辺委員) グリーンタウンコミュニティセンターの指定管理者の当事者(契約上の責任者)として関わっていることもあり、質問する。P.3のコミュニティ関連施設の稼働率の内容は、どこから出た数値なのか。センター長からの報告では、グリーンタウンコミュニティセンターの全体稼働率は76%であり、ホールと研修室では95%前後と聞いている。

(事務局) 稼働率は、公共施設白書の数値である。算出の考え方としては、提供コマ数が1日3コマあった場合、3コマの利用があった場合に100%としている。

(渡辺委員) 公共施設の場合は、稼働率が100%になることはありえないのではないか。

(事務局) 公共施設白書のP.53に掲載している内容に基づき記載している。

(渡辺委員) 施設からの報告を見ると、稼働率が40%というのは合点がいかない。機能を十分に果たさない貸室があることで、全体の率が下がるのは理解できる。管理者側の数値は、1日あたりの提供コマ数が3コマであっても、1つのコマの利用があれば当該日は100%とカウントしている。

(五月女委員) 稼働率については、私も渡辺委員と同じ認識であった。調理室などの特別な諸室は、稼働率が低くなると思う。

(事務局) 稼働率については、先ほど説明した方法に基づいて、あくまでも相対的に高いか低いかを見ているものである。

(渡辺委員) 文章として、グリーンタウンコミュニティセンターの稼働率が低い表現になっているのでどうかと思う。対象施設一覧に稼働率も掲載してほしい。

- (有野委員) 小さいコミュニティセンターは稼働率が低い傾向にあると思う。集落の公民館的な役割として利用するのかなど、各施設の役割を明確にしていく必要があると思う。
- (渡辺委員) グリーンタウンコミュニティセンターは有料であるが、コミュニティセンター友愛館は、自治会が利用する場合は無料だと聞いている。統一的な基準が必要だと思うので調べてほしい。
- (三橋委員長) 用途別基本方針では、4つめの受益者負担の適正化に関連する内容だと思う。利用状況を踏まえて、受益者負担をどのように設定するかが必要な視点であるが、いずれにしても、前提として利用率・稼働率の低いものは見直してもよいのではないかとすることは必要となる。
- (根本委員) 全体に関連する内容であるが、コスト削減に向けたシミュレーションは必要だと思うが、検討は行っているのか。インフラを大きく削減できないことを勘案すると、ハコモノを削減していく必要があると思うが、今回提示された用途別基本方針の内容でコスト削減目標が達成できるかどうかを考慮する必要がある。他市ではハコモノを35%削減するとしているものもある。いずれにしても、この書き方で達成できると考えているのか。努力をしていくことが伝わる内容としてほしい。
- コミュニティ関連施設の用途別方針では、施設のあり方を「検討します」と記載しており、他の施設類型では「図ります」と記載しているが、どう違うのか。検討した結果としてどうしていくかを示しておく必要があるのではないかと。この状態でパブリックコメントにはかけてほしくない。
- (三橋委員長) コミュニティ関連施設を仮に除却するとなると、どこでコミュニティ施設の機能を維持するのかや、コミュニティの統合などについても検討していく必要が生じることになる。
- (滝澤委員) コミュニティセンターでは、すべてお金を取っているのか。若林のコミュニティセンターはほとんど稼働していないと思う。利用者の少ない石北コミュニティセンター1号館・2号館は、売り上げ（使用料収入）が必要なのか。
- (五月女委員) 新しくできた薬師寺コミュニティセンターの館長はボランティアで管理を行っている。
- (滝澤委員) 石北コミュニティセンター1号館は、ほとんど利用がないと聞いている。コミュニティセンター全体でどの施設が利用されていないか把握し、お金を取るかどうか検討することも必要だと思う。
- (事務局) コミュニティセンターについては、設置の成り立ちがそれぞれ異なることや、直営・指定管理・コミュニティ推進協議会の有無など、管理者も異なるため、一律の基準で使用料を設定するのは難しい面がある。各施設の使用料については、確認する。用途別方針にどこまで記載するかについては、最終的には

事務局で判断させていただきたき、個別施設計画につなげていきたいと考える。関係課とも調整の上、案として示しているが、現段階で具体的には書き込まない内容もあると考えている。方向性が決まっているものは具体的に記載しており、差が生じることについては、ご理解をいただきたい。

- (海老原委員) 今回の計画では、公共施設等の方向性(指針)を定めることとし、今後各セクションで方向性に沿った具体的な内容を検討いただくことでよいのではないか。この委員会の中で、個別具体的な内容を固めていくことは、時間的にも難しいと思うし、我々にはノウハウも無い。
- (三橋委員長) 質問になるが、地域の集会所として建てたものや補助をもらって設置しているコミュニティ関連施設は、統一的な統廃合はできるのか。
- (事務局) 所管課とも今後調整していく必要があるが、コミュニティ関連施設については、様々な経緯で設置してきたことから横断的な調整が難しいのが現状である。
- (三橋委員長) 事務局からの説明を受けて、統一的な基準で管理していくことは難題ではあると思う。
- (事務局) コミュニティ関連施設については、一つの切り口では難しいことから、今後、市民協働推進課と調整を図っていくこととしたい。
- (三橋委員長) できるだけシンプルな形で管理運営が行えるよう、担当課への宿題として検討いただきたい。
- (根本委員) 就労継続支援B型事業所すみれについても、統廃合、複合化、規模の最適化などは検討できるのか。
- (事務局) 就労継続支援B型事業所すみれは、社会福祉協議会が運営しており、今後建て替えるの必要が生じた場合は、社会福祉協議会が建て替えを行うことになるかと聞いている。

<「4. 農業振興施設」～「7. 消防・防災施設」>

- (三橋委員長) 続いて「農業振興施設」から「消防・防災施設」について、ご意見をいただきたい。
- (鈴木委員) 天平の丘公園の延床面積が大きいですが、理由を聞きたい。
- (事務局) トイレのほか、古民家等を設置しており、延床面積が大きくなっている。
- (九鬼委員) 柴公園は、築年数として39年も経過しているのか。改修等を行っているが、建物自体は39年経過しているということか。
- (事務局) その通りである。
- (滝澤委員) 公園内のトイレは、よく壊される。
- (根本委員) 今後も利用が見込まれる公園施設と記載があるが、利用が見込まれる公園施設とは何か。

- (事務局) 別処山公園や蔓巻公園等の大規模公園を想定している。
- (鈴木委員) 市が整備を進めている三王山ふれあい公園が、7月21日に部分的にオープンするようである。
- (九鬼委員) 公園内のトイレの改修の際には、防犯カメラを設置してほしい。集まって花火を行うなど、防犯上望ましくない場合がある。
- (事務局) 防犯面での対応については、安心安全課に伝える。

< 「8. 学校教育施設」～「11. 体育施設」 >

- (三橋委員長) 続いて「学校教育施設」から「体育施設」について、ご意見をいただきたい。学校については、小中一貫校の検討を進めていると聞いている。
- (事務局) 下野市学校適正配置基本計画については、平成35年度までとなっており、小規模特認校の取り扱いと、南河内地区の義務教育学校について記載されている。現在のところはこの計画に沿って進めていくこととなっている。
- (五月女委員) 小中一貫校は、南河内中学校の中に小学校を設置することになるのか。統合した場合に小学校の通学範囲の課題もあると思う。
- (根本委員) 小中一貫校に関する推進協議会の委員を務めているが、小中一貫校について、現時点で具体的に決まったものはない。分校形式もありうるし、マイクロバスによる対応も可能性はあると思う。
- (五月女委員) 小中一貫教育による教育上のメリットをまず考えるべきである。9年間を見て児童・生徒がバランスよく教育を受けられるよう考えるべきである。
- (根本委員) ご意見のとおりだと思う。
- (根本委員) 文化施設のテーマ館はどのような施設なのか。
- (有野委員) 現在は、石橋児童館が移転し、こどもの広場いしばしとして運営を行っている。
- (根本委員) テーマ館としての機能はないことでよいのか。
- (事務局) 今後は、こどもの広場いしばしの施設名称で、「子育て支援施設」として整理する。
- (中川委員) 小学校について、細谷小学校や国分寺西小学校などの小規模校は今後どうしていくのか。祇園小学校の人数も減ってきていると聞いている。
- (根本委員) 小規模校については、今後、別の委員会を立ち上げて検討していくと聞いている。
- (中川委員) 児童数が40人程度なのに体育館を改修している状況も見られることから、今後、方向性を考えていく必要があると思う。
- (三橋委員長) 全体として、学校の具体的なあり方については、適正配置計画等の中で今後詳細に検討していくことでよいのではないかと考える。
- (鈴木委員) 文化施設に関して、生涯学習文化課では文化財のための倉庫をたくさん借りていると聞いている。今後文化財倉庫のあり方についても検討すべきではない

かと考える。用途別方針の他施設の空きスペースの活用や移転統合については、方向性としてよいと思う。

- (九鬼委員) 社会教育施設の公民館の受益者負担のあり方の検討については、どのように考えているのか。
- (中川委員) 公民館の使用料については、平成28年4月から改定していることから、用途別基本方針の施設使用料の見直しの記載は必要ないのではないか。使用料改定の検討にあたっては、運営に係る人件費をすべて使用料収入で賄うことは困難であり、現状の5割増し程度の水準となった。
- (根本委員) 公園施設の便所と、体育施設の運動公園の便所は、何が異なるのか。
- (渡辺委員) 生涯学習情報センターは、ボランティア団体は無料で利用可能となっている。コミュニティセンター等と取扱が異なっており、おかしいと思う。
- (三橋委員長) 使用料について、個人活動としての欲求を満たすものについては有料扱いとし、社会的に必要な活動については、使用料を取るのになじまないというのが一般的な考え方だと思う。
- (事務局) 公園施設の便所と運動公園の便所については、管理の所管課が異なることから区分している。用途別に整理することについて、所管課とも調整を図る。
- (三橋委員長) 今後、公共施設マネジメントを進めていく観点からは、所管課単位でカテゴリが分かれていた方が進めやすいと思うので、今のままでよいのではないか。
- (事務局) 委員長のご意見のとおり、現在の分け方としたい。
- (五月女委員) それぞれ設置趣旨が異なるのか。
- (事務局) 公園施設の便所は、都市計画課が行っており、運動公園の便所はスポーツ振興課の管理となっている。
- (有野委員) 体育施設の旧石橋中学校増築棟は、すでに解体されているため、削除した方がよい。
- (事務局) ご意見のとおり削除する。

< 「12. 庁舎等」 ～ 「13. その他」 >

- (三橋委員長) 続いて「庁舎等」から「その他」について、ご意見をいただきたい。
- (根本委員) その他の自治会公民館（四丁目自治会）はどのような施設なのか。
- (事務局) 旧南河内町の時の駐在所が廃止になり、地元との要望で自治会公民館になった経緯がある。
- (根本委員) 自治会公民館（四丁目自治会）についても、用途別基本方針で掲げている移転統合・除却の対象になることでよいか。
- (事務局) 自治会公民館（四丁目自治会）は、現在市に所有権があるが、地元要望で設置している経緯もあり、難しいところである。

- (三橋委員長) 公共施設等総合管理計画の策定を機に、各施設の所管課との調整を通じて、マネジメントを進めていくことが良いと考える。所管課と調整の上、事務局で整理しているとは思いますが、検討は可能か。
- (事務局) 検討していく。
- (有野委員) 南河内庁舎については、解体済みであり、削除してもよいのではないかと。石橋総合病院の移転後の跡地については、有効活用できるのではないかと。
- (事務局) 南河内庁舎は、ご意見のとおり削除する。
- (鈴井委員) 旧庁舎の跡地の利活用はどこで検討を行っていくのか。
- (事務局) 跡地の利活用は、別途検討組織を立ち上げていく予定である。石橋総合病院の跡地についても、併せて検討を行っていく予定である。

<都市基盤施設（インフラ）>

- (三橋委員長) 続いてインフラについて、ご意見をいただきたい。
インフラについては、市民生活に必要不可欠であり、ネットワークでサービスを行う性質があることも踏まえ、基本的に除却はできず、長寿命化・効率化を基本に考えていくことになると思う。
- (鈴井委員) 農業集落排水を下水道として活用していくことも将来的に想定されるが、その場合にはランニングコストが変わってくると思う。P. 40で石橋地区第3工業団地工業排水路等が一般会計扱いとなっている理由を聞きたい。また、上水道の水源（井戸）については、33か所もあることから、P. 2の公共施設等の類型の中に記載すべきではないか。
- (事務局) 石橋地区第3工業団地工業排水路等については、開発公社が整備し、当時の旧町に帰属した経緯があり、合併後も同様に一般会計扱いとなったのではないかと想定される。
水源（井戸）については、ご意見のとおりP. 2に記載する。
農業集落排水を下水道として活用していくことについて、県との協議を行っている状況ではないが、将来的には必要になってくるのではないかと思う。
- (根本委員) 下水道では、国等の動向（参考）の整理の中で、ストックマネジメント手法との記載がある中で、用途別基本方針ではストックマネジメントの記載が出てきていないが、上水道ではアセットマネジメントの手法を取り入れる旨の記載がある。このあたりの表現については、統一できるのか。
- (事務局) 担当課に確認する。
- (根本委員) 全体的に、ハコモノの用途別基本方針の中で、総量を削減する方針が少ないと感じる。コスト縮減目標に向けたシミュレーションも難しいことではあるが、検討していただきたい。また、横串をさす視点で、複合化の基本方針を方針の中で盛り込むことはできないか。

(三橋委員長) 事務局からは、参考検討として学校を削減した場合の試算結果をいただいている。対象施設全体を対象としたシミュレーションなどは現段階で難しいと思うが、延床面積割合が大きく、マネジメント推進上で大きな影響のある施設類型については、削減の試算を行って、概略の効果を把握することも考えられる。関係各課との施設に係る個別具体的な調整ができない段階でシミュレーション結果を報告書内に入れることは支障が出ると思うのでご留意いただきたい。

横串を入れる趣旨で複合化の方向性については、複合化の可能性のある施設や期待されるメリットを整理することなど、検討の余地はあると思うが、コスト削減手法は複合化のみでないことにも留意する必要がある。

(3) その他

(事務局) 次回の検討委員会の日程について、8月19日(金)14時より市役所で行うことを説明。

○閉会

以上

会議の経過を記載し、その相違がないことを証するためにここに署名する。

委員長

署名委員

署名委員